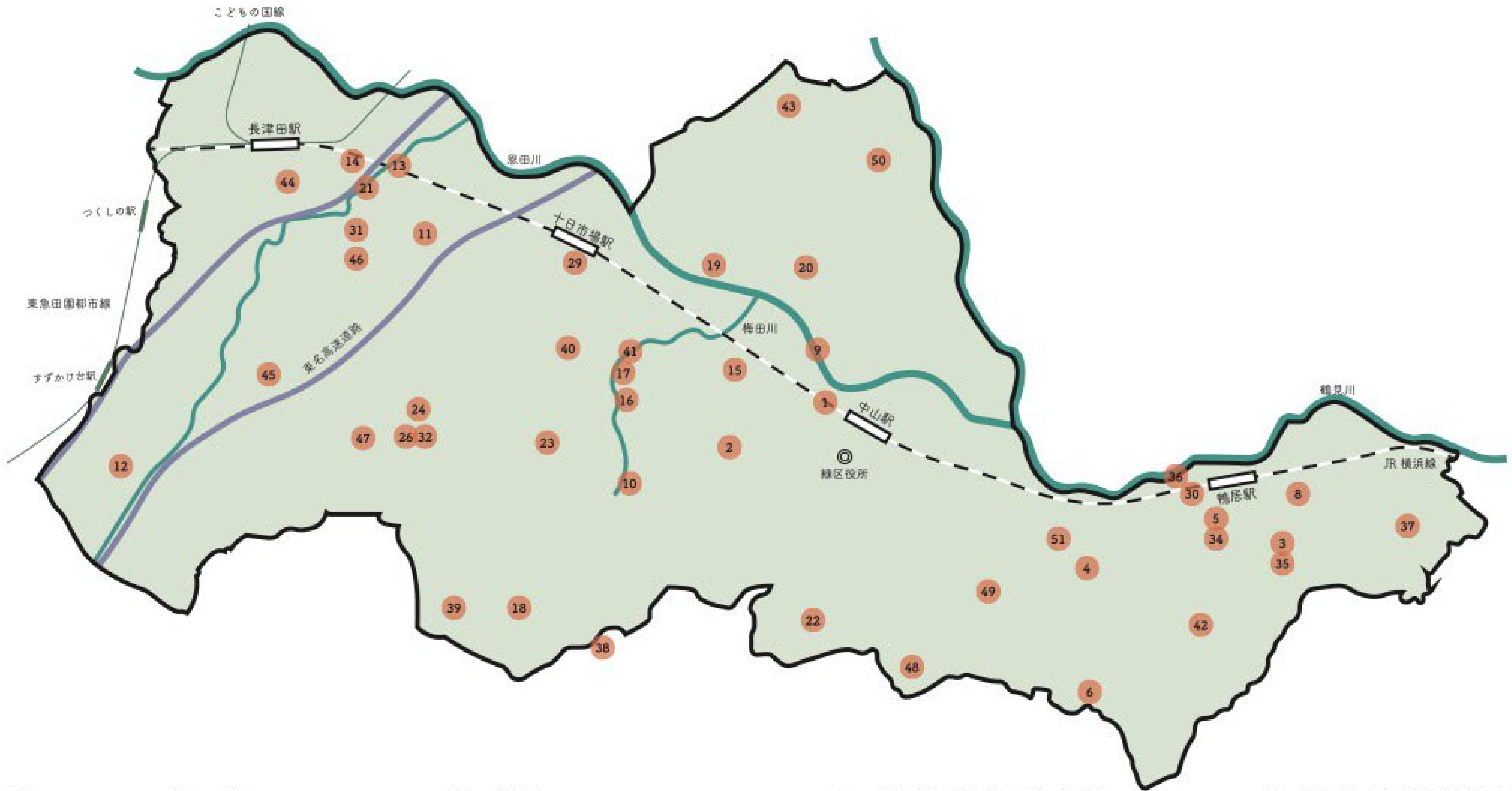


緑区全体地図



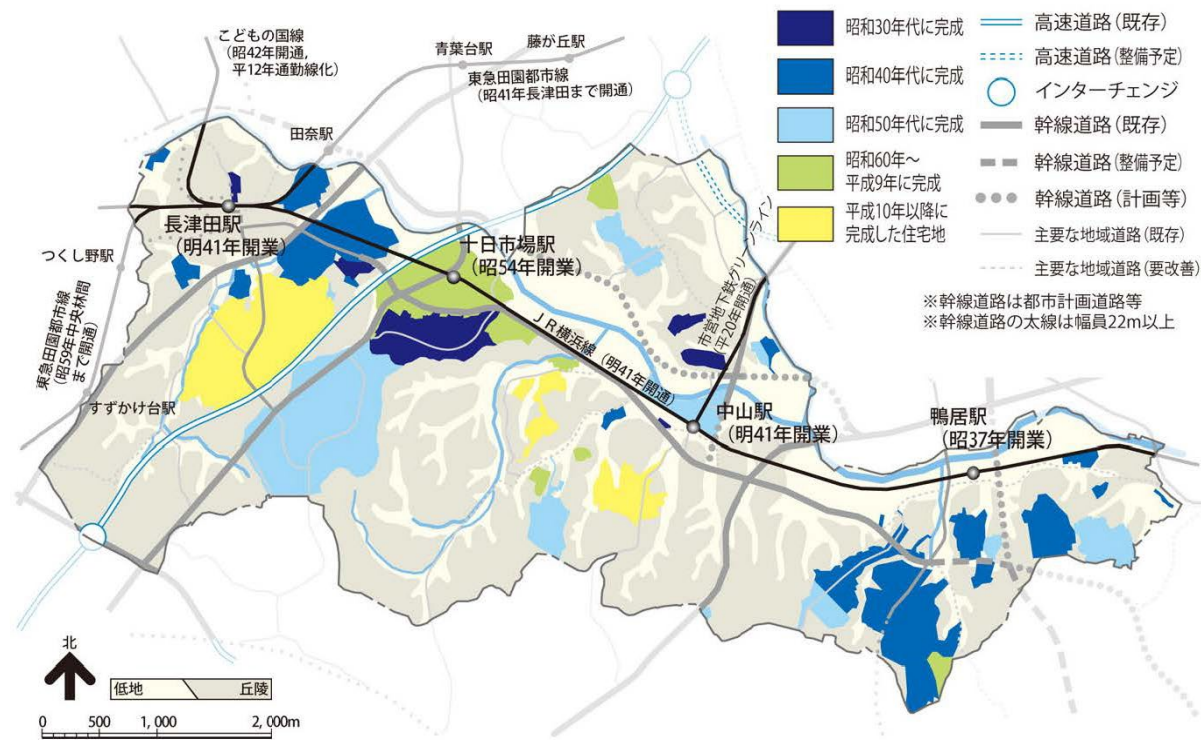
- | | | | | |
|------------------|-------------------|---|--------------------------------|---------------------------|
| 1 緑新栄会界隈 | 11 餅塚 | 21 岩川堰 | 31 地域コミュニティカフェ You の運営 | 41 梅田川の一本橋メダカひろば〜くるみひろば周辺 |
| 2 久保谷戸お滝様 | 12 高尾山 | 22 神奈川県立四季の森公園 | 32 霧が丘バザール | 42 鶴居原市民の森 |
| 3 東本郷第一公園からの山岳展望 | 13 横浜線の岩川橋梁 | 23 新治市民の森 | 33 戦争体験者から「知ろう・伝えよう・繋げよう！」 | 43 北八朔公園 |
| 4 白山神社の碑 | 14 旧大山道と神奈川道分岐の道標 | 24 花いっぱい活動 | 34 横浜であい整 昔と出会う、今と出会う、人と出会う | 44 長津田十景 |
| 5 鶴居杉山神社の絵馬 | 15 山田右京之進城跡碑 | 25 荒地を開墾し農地化（緑化）、ごみの減量（堆肥化） | 35 地域の空き家等対策事業 | 45 玄海田公園 |
| 6 ごはん塚 | 16 杉沢堰 | 26 エコに繋がる「人」と「人」が出会うきっかけ創り | 36 「鶴居 花のプロムナード」の継続と周辺河川敷の清掃作業 | 46 長津田みなみ台公園 |
| 7 鶴居原辻山の庚申塔 | 17 神明谷戸お滝様 | 27 地球温暖化問題をもっと身近に | 37 東本郷公園 | 47 霧が丘公園 |
| 8 奇利吹の滝 | 18 大山道道標 | 28 "ありのまま"で楽しもう！音楽でつながる地域の輪
〜チャレンジ！オーケストラ piccolo〜 | 38 横浜動物の森公園（ズーラシア） | 48 長坂谷公園 |
| 9 恩田川の念仏橋跡 | 19 小山村殿様荒川氏陣屋跡 | 29 鍵っ子の居場所づくり（鍵っ子の迎えと学習指導） | 39 三保市民の森 | 49 上山ふれあいの樹林 |
| 10 念珠坂 | 20 旧山下小学校 木造校舎・校門 | 30 笑って健康！緑区笑顔化計画 | 40 にはる里山交流センター（新治里山公園内） | 50 北八朔恵みの里 |
| | | | | 51 白山ハイテクパーク |

緑区

緑区概要

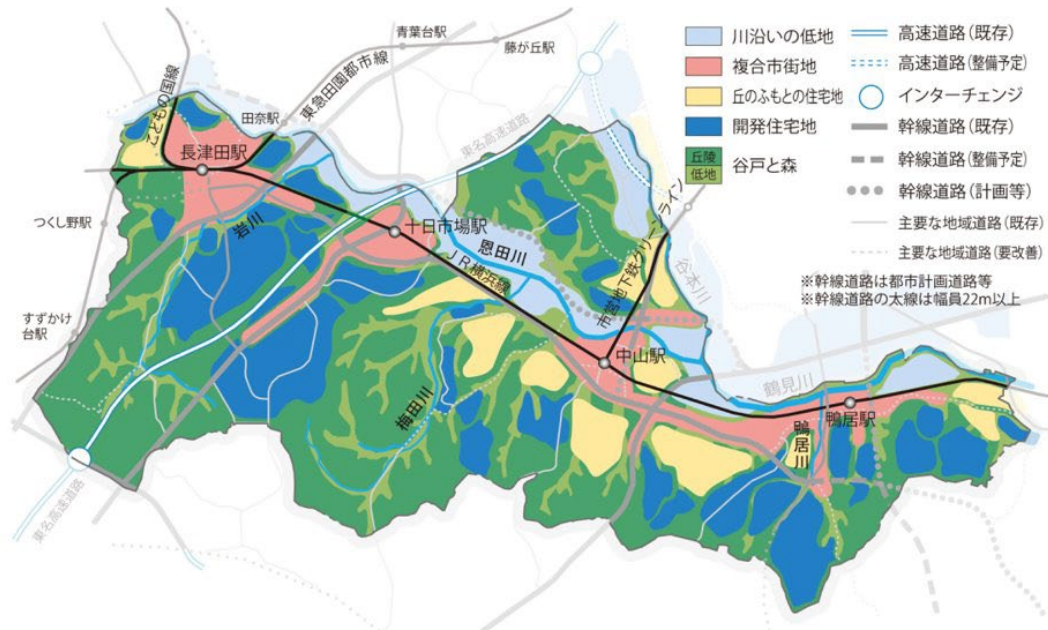
緑区地形・自然

◆主な住宅開発年代図◆



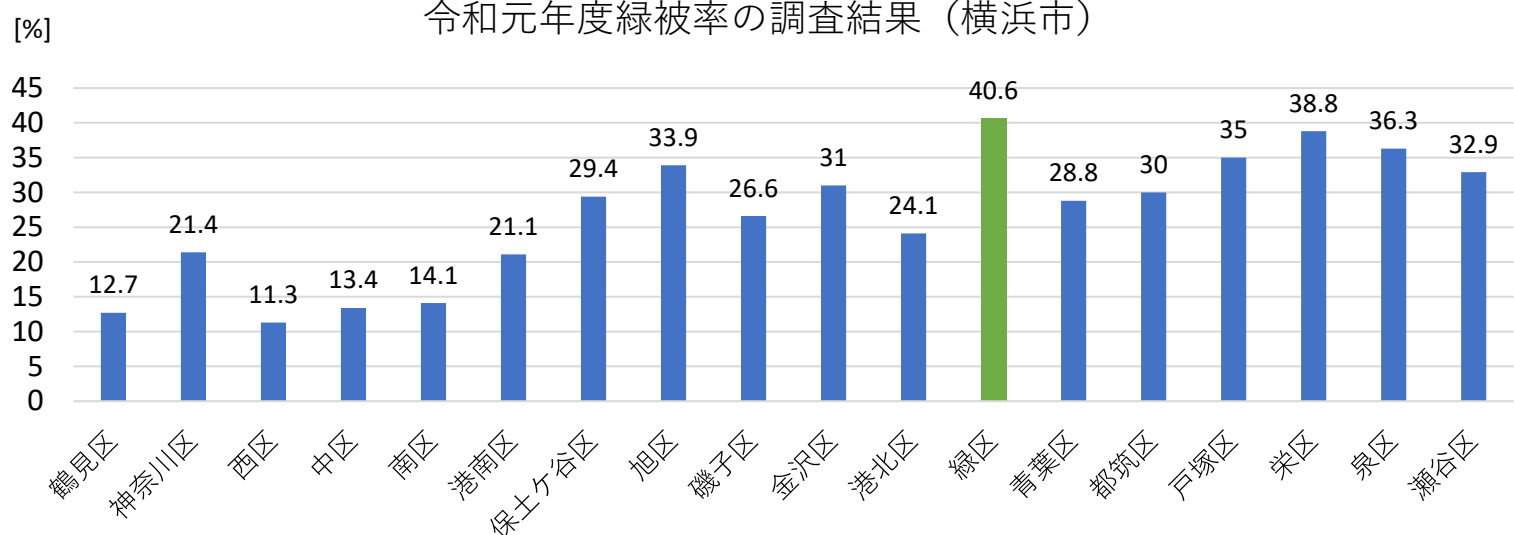
緑区の地形は大きく見ると**多摩丘陵**とそれをを刻みながら流れる**鶴見川**、その支流の**恩田川**によって形成される。
また、三方を山に囲まれた平坦な谷である**谷戸**が特徴的な地形であり、農地などとして活用される。

◆まちの現況構成図◆



緑被率：40.6%
300m2以上のまとまりのある緑が面積に占める割合
18区内中第一位
三保・新治地区の樹林地は横浜市内でも最大規模

令和元年度緑被率の調査結果（横浜市）



横浜市「1-1 緑区の成り立ちと現在の様子」
https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/keikaku/machizukuri/1-naritachi/

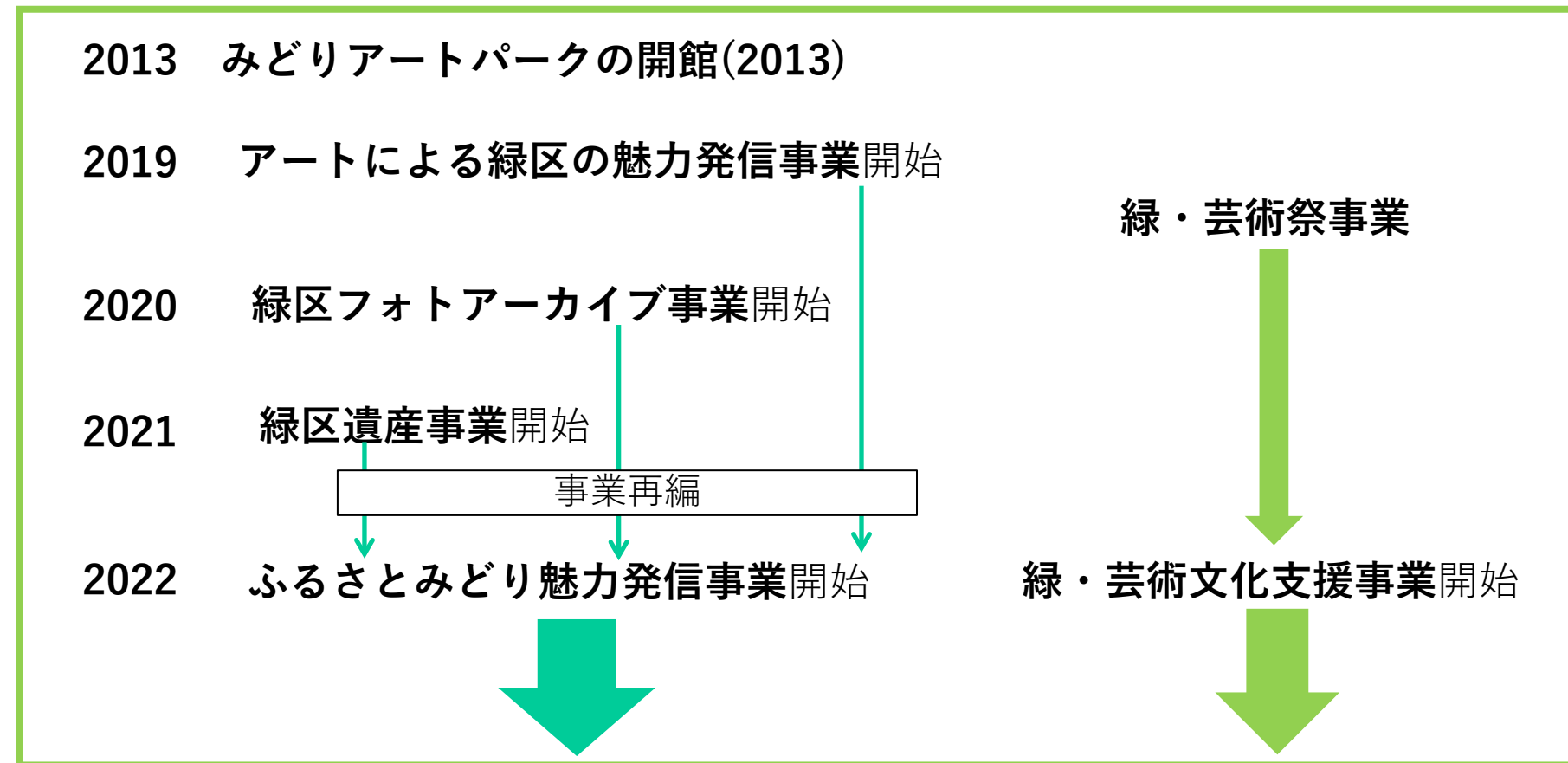
地域資源リスト

情報源	場所・スポット・活動	関係する主な市民団体	キーワード	場所・スポット・活動	関係する主な市民団体	キーワード
緑区遺産	1 緑新栄会界隈	緑新栄会	商店街、飲み屋、昭和、歴史	27 地球温暖化問題をもっと身近に	地球温暖化問題を身近に考える会	環境
散策マップ	2 久保谷戸お滝様	久保谷戸お滝様講中	歴史、保全、自然	28 "ありのまま"で楽しもう！音楽でつながる地域の輪〜チャレンジ！オーケストラpiccolo〜	オーケストラpiccolo	こども・青少年・まちづくり
	3 東本郷第一公園からの山岳展望	東本郷ばらの会自治会	景観	29 鍵っ子の居場所づくり（鍵っ子の迎えと学習指導）	みどりパチパチ会	こども・青少年
	4 白山神社の碑	白山自治会	歴史、石碑	30 笑って健康！緑区笑顔化計画	あくていぶらフターくらぶ	福祉まちづくり
	5 鴨居杉山神社の絵馬	鴨居駅周辺まちづくり研究会	歴史、遺産	31 地域コミュニティカフェYouの運営	地域コミュニティカフェYou	福祉まちづくり
	6 ごはん塚		歴史、石碑、塚	32 霧が丘バザール	霧が丘バザール実行委員会	まちづくり
	7 鴨居原辻山の庚申塔		歴史、石塔	33 戦争体験者から「知ろう・伝えよう・繋げよう！」	ごえんのちから	こども・青少年・環境
	8 奇利吹の瀧	緑区生涯学級「横浜線ものがたり」	歴史、景観	34 横浜であい塾 昔と出会う、今と出会う、人と出会う	鴨居駅周辺まちづくり研究会	福祉まちづくり
	9 恩田川の念仏橋跡	駕牛会	歴史、寺院	35 地域の空き家等対策事業	東本郷ばらの会自治会	防犯・防災・まちづくり
	10 念珠坂	三保念珠坂公園愛護会 三保念珠坂あそび場管理運営委員会	公園、地形	36 「鴨居 花のプロムナード」の継続と周辺河川敷の清掃作業	みどり・川と風の会	環境・まちづくり
	11 餅塚	上の原グリーンハイツ自治会	歴史	37 東本郷公園	東本郷公園愛護会	
	12 高尾山	長津田自治会	歴史	38 横浜動物の森公園(ズーラシア)		
	13 横浜線の岩川橋梁		歴史	39 三保市民の森		
	14 旧大山道と神奈川道分岐の道標	下長津田自治会	歴史	40 にいはる里山交流センター(新治里山公園内)	NPO法人新治里山「わ」を広げる会	自然公園
	15 山田右京之進城跡碑	緑区遺産三保町保存会	歴史、城郭	41 梅田川の一本橋メダカひろば〜くするみひろば周辺	一本橋メダカひろば水辺愛護会	自然公園
	16 杉沢堰	緑区遺産三保町保存会	歴史、自然、農業、土木	42 鴨居原市民の森	鴨居原市民の森愛護会	自然公園
	17 神明谷戸お滝様	緑区遺産三保町保存会	歴史、農業	43 北八朔公園	北八朔公園愛護会 山下連合自治会	自然公園
	18 大山道道標	緑区遺産三保町保存会	歴史、石碑	44 長津田十景		
	19 小山村殿様荒川氏陣屋跡	荒川家家臣の会	歴史	45 玄海田公園		
	20 旧山下小学校 木造校舎・校門	山下地域交流センター管理運営委員会 山下連合自治会	歴史、建築、保存、学校	46 長津田みなみ台公園		
	21 岩川堰			47 霧が丘公園		
緑と水の回廊	22 神奈川県立四季の森公園		自然公園	48 長坂谷公園	緑とコミュニティーグループ	公園
	23 新治市民の森	新治市民の森愛護会	自然公園	49 上山ふれあいの樹林		自然
	24 花いっぱい活動	特定非営利活動法人わかば	環境・まちづくり	50 北八朔恵みの里	北八朔恵みの里連絡会	農業
	25 荒地を開墾し農地化（緑化）、ごみの減量（堆肥化）	ファームなかま	環境福祉	51 白山ハイテクパーク		

アート分野 – 緑区役所中心の魅力発信事業

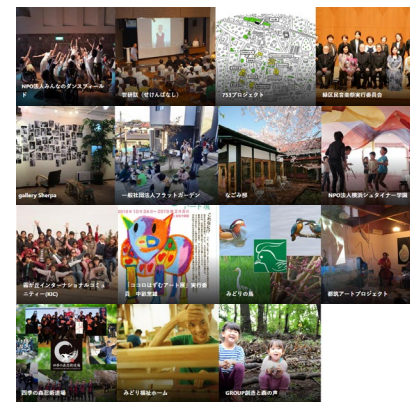
緑区役所の活動

①区役所のアートに関する活動



みどりアートパーク

- ・緑区内で運営される唯一の文化専門施設
- ・区内のアート活動団体のネットワーク構築に取り組んでおり、区内の15の市民団体と文化支援パートナーに
- ・全国で活動するオーケストラ「ズーラシアンブラス」とパートナーシップ協定



文化支援パートナーズ

アートによる緑区の魅力発信事業

- ・区制50周年を契機に、アートによる緑区の魅力発信、こどもたちのアート体験創出を目的に実施
- ・地域の子どもたちも作品制作に参加できるような3つのアートイベントを開催



参加型アートプロジェクト
ひかりの実



まちかどアートフェス
伝言板アート



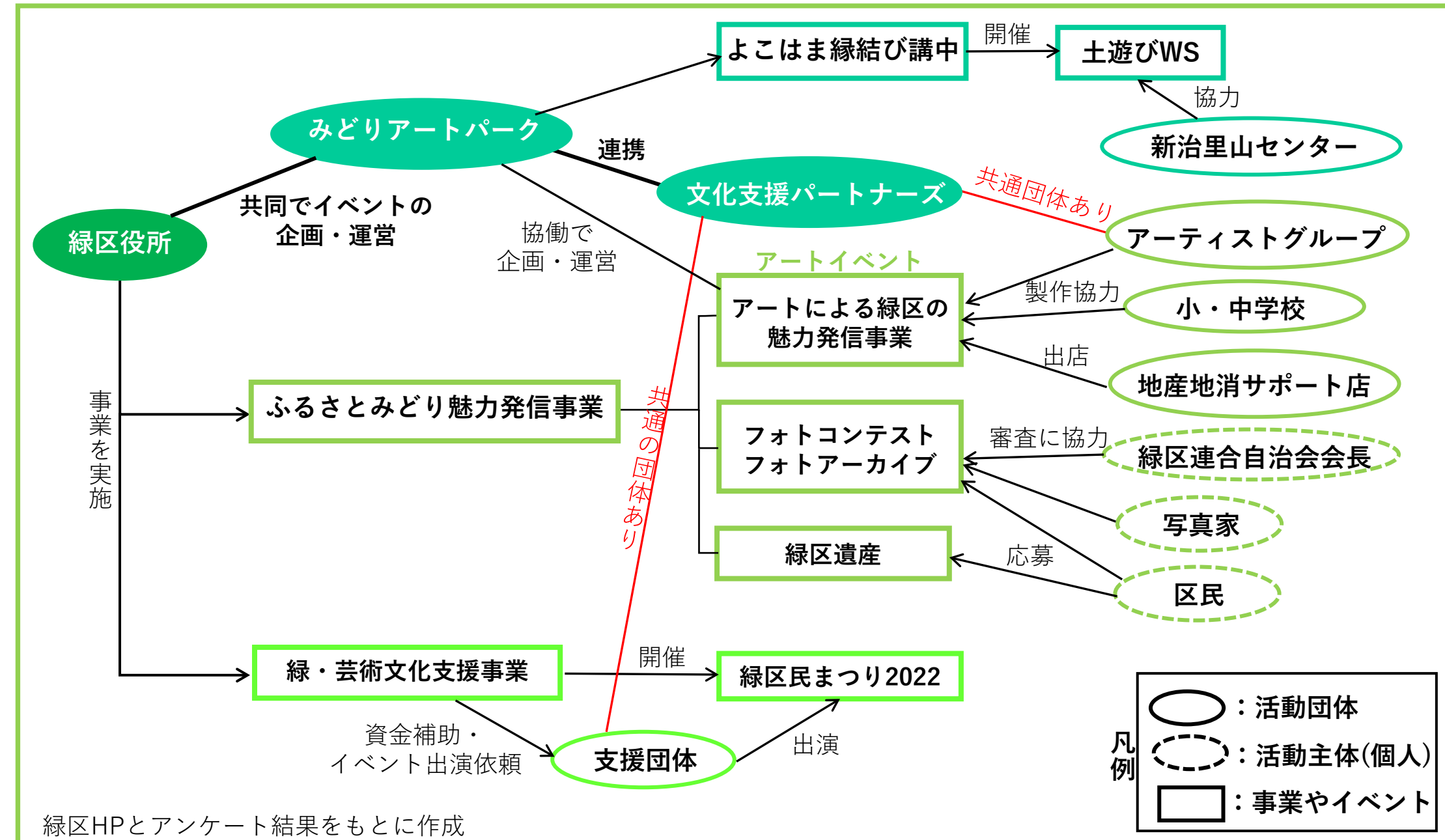
山下学舎文化祭
黒板アート

緑・芸術文化支援事業

区内で文化・芸術に触れる機会を提供・確保するため、アートイベントを開催する市民団体の活動に対して、広報や資金面から支援する。

アートイベントと活動団体

①区役所の事業と活動団体との連携



アートによる緑区の魅力発信事業(アートイベント)における連携

- ・緑区役所とみどりアートパークが協働してイベントの企画・運営
- ・文化支援パートナーの「都築アートプロジェクト」や小中学校の子どもたちの作品が展示
- ・地産地消サポート店の出店

緑・芸術文化支援事業における連携

- ・団体への資金補助 (例：GROUP創造と森の声)
- ・支援団体に対して、区主催イベント(緑区民まつり2022等)への出演依頼

②文化支援パートナーズの主な活動団体

都築アートプロジェクト

- ・緑区長津田が拠点のアーティストグループ
- ・山下学舎文化祭：農機具とアートのコラボ作品



GROUP創造と森の声

- ・緑区の自然を活かしたアート体験、アートを通じた区民の交流を図る



農業分野 - 地場野菜の魅力の発信 -

緑区の地場野菜の魅力を地域に発信する取り組みが行われている。行政主体で取り組んできたが、近年、市民団体も活動を開始。

緑区役所主体の活動

①地産地消に関する広報活動

直売所のマップやレシピ集の作成や、広報よこはまや Facebook など直売所、地産地消に関するイベント情報について紹介。

画像は緑区HPより



とれたてみどり 緑区直売所マップ

区内の農家さんと連携し作成。
区内の49の直売所を紹介。

地産地消みどり グルメガイドマップ

区内の18のよこはま地産地消
サポート店を紹介。

みどりとれたてレシピ集

よこはま地産地消
サポート店と連携し作成。
50品のレシピを紹介。

②地産地消促進イベントの実施・参加

画像は緑区HPより

山下学舎文化祭での出店

- ・区内の農家さんの野菜の販売
- ・よこはま地産地消サポート店のキッチンカーによるお弁当販売

など



地産地消みどりグルメスタンプラリー

「よこはま地産地消サポート店」をめぐるイベント。



地産地消講座（年2回程度・1回20人程度）

区内の農家さんと連携し、トウモロコシ等の収穫体験や、里芋彫り体験を実施。小学生から70代まで幅広い世代が参加。



緑区役所での野菜の販売

・とれたてみどり直売所
・みどり地場野菜の直売会
地域の住民同士、生産者と消費者のコミュニケーションの場となっている。



横浜市緑区役所公式Twitterより

市民団体主体の取り組み

①Yokohama Team Verde Three Stars（チームヴァルデ）

区内の農家さんと連携し、地場農産物の美味しさ・豊かさを広く伝えるため、区内のよこはま地産地消サポート店有志14店が集まって立ち上げた団体。イベントに参加し、地場農産物をPR。



グリーンマルシェ

横浜グリーンボタンクラブが、「地域の皆様に、より十日市場エリアのことを知ってもらいたい」という思いで開催。（ドレッセ横浜十日市場前、神奈川大学の教員、学生も協力）

～新米まつり～

十日市場産の新米を使用したお弁当を販売。

～夏野菜まつり～

地元の農家さんの野菜販売とともに、各店の旬の野菜を使ったお惣菜を販売。



チームヴァルデHPより

②今年度から活動を開始した団体

緑区地域課題チャレンジ提案事業（活動を始めたばかりで財政的な支援が必要な市民活動団体に対し、補助金による支援を行う制度）で、令和4年度活動を開始した団体のうち2団体が、地産地消の取り組みを行なっている。

NPO法人霧が丘ぶらっとほーむ

多世代交流を目指した「居場所」を作り、ここを拠点とした環境学習の講座開催や、地元の野菜を使った料理の提供（地産地消）、ゴミ拾い（環境美化）などの取組を進める。地域でとれた野菜を使ったランチを提供するカフェ「ぶらっとkiricafe」を2022年9月にオープン予定。また、地場野菜を販売するマルシェも2022年9月より開催予定。



霧が丘ぶらっとほーむHPより

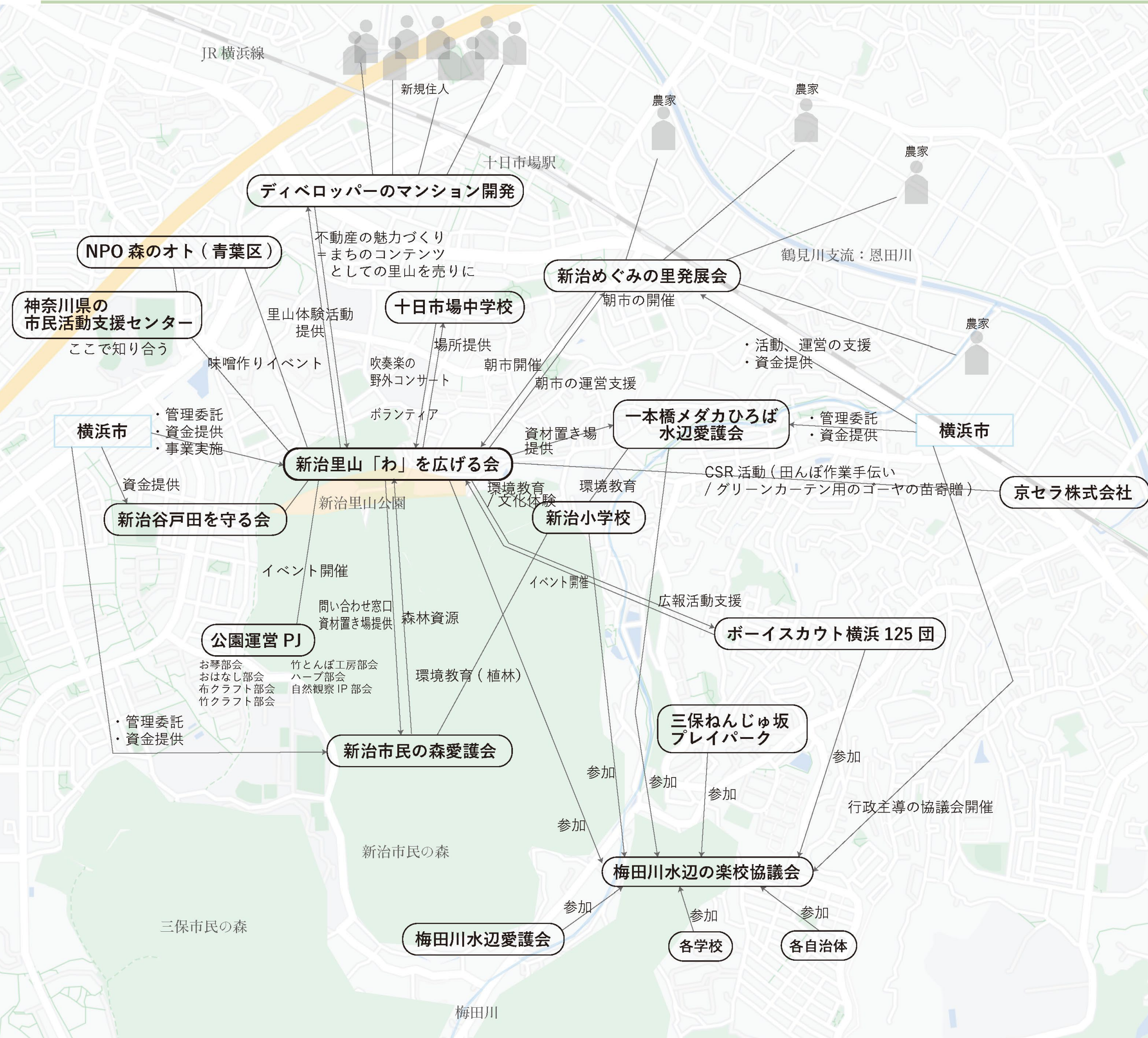
連携団体

- ・福祉のまち霧が丘
- ・まちプラ
- ・霧が丘インターナショナルコミュニティ

ファームなかま

高齢者を中心に、荒れ地を農地化し、野菜・花卉を栽培。畑内にコンポストと堆肥場を設置し、家庭ごみや落ち葉などを堆肥にする。収穫した野菜などを使った収穫祭を開催予定。

里山があるからこそ集まる仲間達 - 新治地区を舞台に広がる市民活動 -



中心組織 - NPO 法人新治里山「わ」を広げる会 ※ヒヤリング実施団体

拠点 にはる里山交流センター



旧奥津邸という歴史的建築物一体の活用策検討メンバーにより、新治の里山景観や生態系の保全、文化の継承と創造を基本に平成 19 年に設立。

2つのプロジェクト

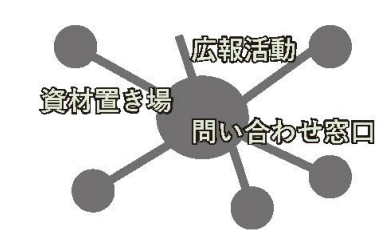
新治里山公園運営PJ

公園の活用を通して、里山保全活動のお手伝いや仲間作りをする。

新治谷戸田を守る会

一連の田んぼ作業の他、里山の学習会等も行っている。

「拠点」のあるハブ組織



市民団体の中には、拠点を持たない組織もある。保全活動に必要な機材や資材を置いたり、問い合わせ窓口を設けたりしている。

アート × 新治



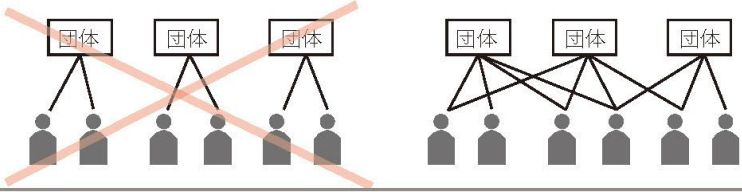
アーティストを呼んで葉っぱアートのクラフト教室を開催するなど、「わ」を広げる会主催のアート活動も行われている。

学校教育 × 新治



周辺の学校の地域連携学習体験も活発である。先生方から「何ができますか」という相談が多い。環境教育のプログラムを提案し、つながりをもつ他の市民団体を紹介。

市民活動はツリーではない



ヒヤリングで市民組織の連携について何うと、「そもそも構成員が似ている」という回答を得た。各個人が、複数の団体に所属していることが珍しくない。このことから、連携の可能性として「個人」を介した連携が考えられるだろう。

まちのコンテンツとしての里山へ



森歩き・散歩
気軽に参加できる里山体験

ここ5年で新治は変化している。十日市場駅周辺では、マンション開発が進んでおり、まちの中の里山体験を売りにしている。新治は十日市場の地域ブランド醸成のための一要素である。新規住人が増える中、従来はハイキング客が多かったが、「自然体験」を求めてもっとカジュアルに里山を楽しむニーズが高まっている。

これからの取り組み - 福祉との連携



2022 年秋に、新治のとある福祉施設から、重度心身障害者の身体表現アートを行えないかという相談を受けた。これからは、福祉・アートとの連携の可能性が広がる。



参考文献
・渡辺真季, 三橋伸夫, 佐藤栄治, 本庄宏行「市民参加型緑地保全活動および住民意識の実態把握 - 横浜市舞岡町と新治町の比較分析 -」日本建築学会計画系論文集 2015 年 80 巻 717 号 p. 2545-2555
・にはる里山交流センターHP < <http://www.niiharu.jp/relations> >
Google map より